

事業の概況

事業の概況

●収益の状況

經常利益は、前年同期比4億9百万円増加し、11億18百万円となりました。

基本的な収益力を示すコア業務純益は、貸出金利息、有価証券利息配当金共に増加した等により、前年同期比39百万円増加し、7億39百万円となりました。

○損益状況と総与信費用の推移

(単位：百万円)

| | 2021年9月期 | 2022年9月期 | 2023年9月期 |
|--------|----------|----------|----------|
| 經常利益 | 749 | 709 | 1,118 |
| 中間純利益 | 535 | 541 | 779 |
| コア業務純益 | 762 | 699 | 739 |
| 総与信費用 | 192 | 34 | △100 |

※コア業務純益=業務純益+一般貸倒引当金繰入額-国債等債券損益

※総与信費用=不良債権処理額+一般貸倒引当金繰入額

●預金・預り資産・貸出金の状況

預金につきましては、主に個人預金、法人預金を中心に減少したこと等により前年同期比106億16百万円減少し、2,371億40百万円となりました。

貸出金につきましては、地方公共団体向け貸出が減少したこと等により、前年同期比38億27百万円減少し、1,911億42百万円となりました。

○預金、個人預金及び預り資産残高の推移

(単位：億円)

| | 2021年9月期 | 2022年9月期 | 2023年9月期 |
|------|----------|----------|----------|
| 預金 | 2,483 | 2,477 | 2,371 |
| 個人預金 | 1,719 | 1,700 | 1,639 |
| 預り資産 | 231 | 222 | 223 |

○貸出金及び佐賀県内向け貸出金の推移

(単位：億円)

| | 2021年9月期 | 2022年9月期 | 2023年9月期 |
|-----------|----------|----------|----------|
| 貸出金 | 1,976 | 1,949 | 1,911 |
| 佐賀県内向け貸出金 | 1,407 | 1,356 | 1,317 |

●自己資本比率の状況（国内基準）

2023年9月期における自己資本比率は9.29%となりました。

自己資本比率は、国内基準で必要とされている4%を大幅に上回る水準を長年に亘り維持しており、経営の健全性は高く、安心してお取引いただける水準にあります。

当行は、今後とも財務基盤の強化に努めてまいります。

※自己資本比率とは総資産に対する自己資本（資本金や引当金等）の割合を示すもので、金融機関の財務内容の健全性を判断する重要な指標となっています。当行のように海外に営業拠点を持たない銀行は4%以上（国内基準）を維持することが義務づけられています。

○自己資本比率の推移

(単位：%)

| | 2021年9月期 | 2022年9月期 | 2023年9月期 |
|--------------|----------|----------|----------|
| 自己資本比率（国内基準） | 8.74 | 8.86 | 9.29 |

●不良債権の状況

当行は、「地域に根ざした面倒見の良い銀行」を目指しており、地域経済への貢献に重点を置いて、取引先企業の経営改善及び再生支援に注力することにより、不良債権の圧縮に努めております。

2023年9月末の不良債権（金融再生法開示債権）残高は、71億26百万円であり、総与信に対する割合は3.70%です。不良債権（金融再生法開示債権）残高のうち77.24%は貸倒引当金や担保等でカバーされております。

○金融再生法に基づく開示基準による資産内容

(単位：百万円)

| | 2023年9月期 | | | | |
|-------------------|-----------|----------------|------------|--------------|----------------|
| | 債権残高 A | 担保等による 保全額B | 貸倒引当金 C | 保全額 D=B+C | 保全率 (%) D/A |
| 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 | 1,016 | 513 | 502 | 1,016 | 100.00 |
| 危険債権 | 5,178 | 2,684 | 1,276 | 3,961 | 76.50 |
| 要管理債権 | 930 | 367 | 158 | 526 | 56.53 |
| 合計 | 7,126 | 3,566 | 1,938 | 5,504 | 77.24 |

地域密着型金融の取り組み状況

資本金

株式・従業員

中間財務諸表

損益の状況

営業の状況

各種経営指標

バーゼルⅢ(第3の柱)に基づく開示事項

事業の概況

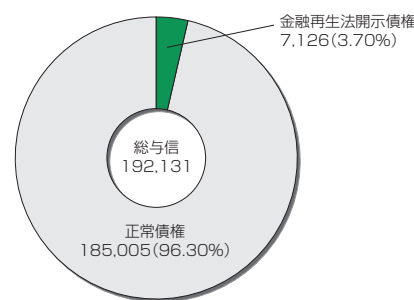
○不良債権（金融再生法開示債権）の推移 (単位：百万円)

| | 2021年9月期 | 2022年9月期 | 2023年9月期 |
|-------------|----------|----------|----------|
| 金融再生法開示債権残高 | 6,473 | 7,367 | 7,126 |
| 金融再生法開示債権比率 | 3.26% | 3.76% | 3.70% |

金融再生法に基づく開示基準の概要

- 総与信…………… 貸出金、外国為替、支払承諾見返、未収利息、仮払金、貸付有価証券
- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権…経営が破綻した取引先への債権
- 危険債権…………… 経営状態が悪化し、経営は破綻していないまでも約定どおりに返済できない可能性が高い取引先への債権
- 要管理債権…………… 元金または利息の支払が3ヵ月以上遅れている貸出金と、貸出条件を緩和している債権（上記2債権を除く）

○総与信に占める金融再生法開示債権の残高と比率 (単位：百万円)



※記載金額、比率は、単位未満を切り捨てて表示しております。

●当行の最近3中間期及び最近2事業年度に係る主要な経営指標等の推移 (単位：百万円)

| 項 目 | 2021年9月期 | 2022年9月期 | 2023年9月期 | 2022年3月期 | 2023年3月期 |
|--------------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 経常収益 | 3,132 | 3,030 | 3,297 | 6,125 | 6,262 |
| 経常利益 | 749 | 709 | 1,118 | 1,124 | 1,070 |
| 中間(当期)純利益 | 535 | 541 | 779 | 639 | 968 |
| 資本金 (発行済株式総数) | 2,679 (22,034千株) | 2,679 (22,034千株) | 2,679 (22,034千株) | 2,679 (22,034千株) | 2,679 (22,034千株) |
| 純資産額 | 15,306 | 14,611 | 17,217 | 14,984 | 15,334 |
| 総資産額 | 278,976 | 277,533 | 266,654 | 274,638 | 264,298 |
| 預金残高 | 248,391 | 247,757 | 237,140 | 241,668 | 235,555 |
| 貸出金残高 | 197,622 | 194,970 | 191,142 | 195,549 | 190,766 |
| 有価証券残高 | 60,204 | 56,396 | 52,555 | 58,888 | 52,229 |
| 1株当たり中間純利益 | 24.49円 | 24.76円 | 35.68円 | — | — |
| 1株当たり当期純利益 | — | — | — | 29.28円 | 44.30円 |
| 潜在株式調整後 1株当たり中間純利益 | — | — | — | — | — |
| 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | — | — | — | — | — |
| 1株当たり配当額 | 3.00円 | 3.00円 | 3.00円 | 6.00円 | 6.00円 |
| 従業員数 [外、平均臨時従業員数] | 294人 [82人] | 275人 [80人] | 269人 [79人] | 285人 [82人] | 267人 [80人] |
| 自己資本比率 | 5.48% | 5.26% | 6.45% | 5.45% | 5.80% |
| 単体自己資本比率(国内基準) | 8.74% | 8.86% | 9.29% | 8.68% | 9.17% |
| 営業活動による キャッシュ・フロー | 13 | 4,442 | 80 | △1,212 | △4,706 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | △574 | 1,142 | 1,610 | 172 | 5,835 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | △66 | △65 | △69 | △132 | △134 |
| 現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高 | 20,632 | 25,606 | 22,702 | 20,087 | 21,081 |

- (注) 1. 自己資本比率は、(中間)期末純資産の部の合計を(中間)期末資産の部の合計で除して算出しております。
 2. 単体自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づく2006年金融庁告示第19号に定められた算式に基づき算出しております。当行は国内基準を採用しております。
 3. 潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益については、潜在株式がないため記載していません。
 4. 従業員数は、就業人員数を表示しております。

●2023年度に行った施策

- ・「佐賀県・税公金キャッシュレス納付推進プロジェクト」への参加
佐賀県内における税公金のキャッシュレス納付の推進に連携・協力して取組むことにより、地域経済の発展・行政のデジタル化を促進していきます。
当行では、今後も地域活性化につながる取組みを実施してまいります。
- ・スマートフォンアプリ「PayPay」との口座連携開始
2023年8月より、お客さまの利便性向上のために、PayPay株式会社が提供するキャッシュレス決済サービス「PayPay」と口座連携を開始しました。当行に預金口座をお持ちのお客さまは、PayPayに口座番号などの必要情報を登録していただくことで、当行預金口座からPayPay残高に直接チャージすることが可能になります。
- ・非対面による「住所等変更申込」および「インターネット・モバイルバンキング各種申込」の取扱い開始
2023年11月から、佐賀共栄銀行バンキングアプリや当行ホームページにて、運転免許証もしくはマイナンバーカードをご用意いただくことで、非対面での「住所等変更申込」および「インターネット・モバイルバンキング各種申込」が可能となりました。
- ・各種ご相談窓口の設置
2023年7月の大雨災害に関するご相談窓口の設置
2023年7月に発生しました大雨災害の影響を踏まえて、7月11日からご相談窓口を設置しました。
「豚熱の患畜」の発生に伴うご相談窓口の設置
佐賀県内での豚熱の患畜発生による影響を踏まえて、9月1日からご相談窓口を設置しました。
「鳥インフルエンザ」の発生に伴うご相談窓口の設置
佐賀県内での鳥インフルエンザ発生による影響を踏まえて、11月27日からご相談窓口を設置しました。
【ご相談窓口】
全営業店：平日 午前9時～午後3時
業務統括部（TEL 0952-22-5621）：平日 午前9時～午後5時

●トピックス

- ・店舗の移転統合
2023年8月、ブランチインブランチ形態で大野城支店を福岡支店に移転統合いたしました。
【移転場所】福岡市博多区店屋町8番30号 博多フコク生命ビル5階
- ・当行行員における副業の取扱開始
2023年10月から、多様な働き方の推進による行員の成長と地域貢献を目的として、副業の取扱いを開始しました。副業によって行員の成長や様々な価値観をもたらすことで、銀行内で革新を起こすような人材の育成につなげてまいります。
- ・定期預金の金利の引き上げ
2023年12月から、期間5年の定期預金の金利引き上げを行いました。長期金利の上昇に伴う対応で、2007年以来16年ぶりの預金金利引き上げであります。